

八高 だより



第94号

発行
令和6年3月1日
岐阜県立八百津高等学校
PTA事務局



八百津高校での学びを次に活かす

PTA会長 安藤 勉

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

保護者の皆様、心よりお慶び申し上げます。

3年間PTA活動にご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございました。

卒業生の皆さんは、コロナ禍でさまざまな制限がかけられた日常生活の中、高校生活を送られました。昨年の高校生活の中で学んだ経験を糧にして、どうすれば実現可能か？を創意工夫し取り組まれたことと思います。中学校生活では無かった制限や当たり前のように過ごせた日常のありがたみを今一度、感謝し、今後に活かしていただきたいです。

卒業を迎えると、3年という時間はいかがでしたか？『あつという間』でしたか？人間の感覚とは不思議なもので、過ぎた時間の感覚は時間が経つほど短かったと認識するようです。その過ぎた時間の中でも経験したことは、自分の生き方の糧にな

り、できることが増えていきます。挑むチャンスがどんどん来ます。そのチャンスを見逃さず次へ繋がられるような前向きな生き方をしていただけけるように切に願います。が、いつもチャンスを見逃さないって生き方は疲れちゃいます。肩ひじ張らず適度なスタンスでいいんです。それはこれから学べる事であり学ぼうという意欲の先にあると思っています。私自身も昨年度と今年度PTA役員として活動させていただき、学ばせていただく機会をいただきました。今後、この経験を様々なことに繋げられるよう感謝の心を持ち学び続けます。

最後になりますが、八高生皆さんの学校生活を熱心に支えて下さった校長先生をはじめ、教職員の皆様に対し、心より感謝申し上げます。そして、地域の皆様にもご指導、ご理解を賜り、感謝申し上げます。今後も見守り、お力添えをお願い申し上げます。



白団



赤団



青団

「言葉の大切さ」

校長 岩島 章雄

卒業生の皆さんが、高校生となった令和三年は新型コロナウイルス感染症の感染が拡大し、日常の活動の自粛を余儀なくされ、様々なことを我慢しなければならぬ日常の真っ只中でした。

卒業生の皆さんが、高校生となった令和三年は新型コロナウイルス感染症の感染が拡大し、日常の活動の自粛を余儀なくされ、様々なことを我慢しなければならぬ日常の真っ只中でした。

卒業生の皆さんが、高校生となった令和三年は新型コロナウイルス感染症の感染が拡大し、日常の活動の自粛を余儀なくされ、様々なことを我慢しなければならぬ日常の真っ只中でした。

卒業生の皆さんが、高校生となった令和三年は新型コロナウイルス感染症の感染が拡大し、日常の活動の自粛を余儀なくされ、様々なことを我慢しなければならぬ日常の真っ只中でした。

しかし令和五年になり新型コロナウイルス感染症の感染が拡大し、日常の活動の自粛を余儀なくされ、様々なことを我慢しなければならぬ日常の真っ只中でした。

しかし令和五年になり新型コロナウイルス感染症の感染が拡大し、日常の活動の自粛を余儀なくされ、様々なことを我慢しなければならぬ日常の真っ只中でした。

しかし令和五年になり新型コロナウイルス感染症の感染が拡大し、日常の活動の自粛を余儀なくされ、様々なことを我慢しなければならぬ日常の真っ只中でした。

しかし令和五年になり新型コロナウイルス感染症の感染が拡大し、日常の活動の自粛を余儀なくされ、様々なことを我慢しなければならぬ日常の真っ只中でした。

当初は中学生の頃から行事の自粛のため経験のない中で、三年生として体育大会をリードしてつくりあげることができるとの心配をしていました。

当初は中学生の頃から行事の自粛のため経験のない中で、三年生として体育大会をリードしてつくりあげることができるとの心配をしていました。

当初は中学生の頃から行事の自粛のため経験のない中で、三年生として体育大会をリードしてつくりあげることができるとの心配をしていました。

当初は中学生の頃から行事の自粛のため経験のない中で、三年生として体育大会をリードしてつくりあげることができるとの心配をしていました。

しかし、いざ体育大会の練習が始まると卒業生の皆さんは三年生としての自覚と自信をもって下級生を指導し、立派な体育大会を作り上げてくれました。

しかし、いざ体育大会の練習が始まると卒業生の皆さんは三年生としての自覚と自信をもって下級生を指導し、立派な体育大会を作り上げてくれました。

しかし、いざ体育大会の練習が始まると卒業生の皆さんは三年生としての自覚と自信をもって下級生を指導し、立派な体育大会を作り上げてくれました。

しかし、いざ体育大会の練習が始まると卒業生の皆さんは三年生としての自覚と自信をもって下級生を指導し、立派な体育大会を作り上げてくれました。

原照久さんの言葉です。

「心は聞いた言葉で作られる」とはどういうことか。人間というのは実に弱いもので、一見強そうに見える人でも実はそんなに強くないことがほとんどです。

「心は聞いた言葉で作られる」とはどういうことか。人間というのは実に弱いもので、一見強そうに見える人でも実はそんなに強くないことがほとんどです。

「心は聞いた言葉で作られる」とはどういうことか。人間というのは実に弱いもので、一見強そうに見える人でも実はそんなに強くないことがほとんどです。

「心は聞いた言葉で作られる」とはどういうことか。人間というのは実に弱いもので、一見強そうに見える人でも実はそんなに強くないことがほとんどです。

「心は聞いた言葉で作られる」とはどういうことか。人間というのは実に弱いもので、一見強そうに見える人でも実はそんなに強くないことがほとんどです。

「心は聞いた言葉で作られる」とはどういうことか。人間というのは実に弱いもので、一見強そうに見える人でも実はそんなに強くないことがほとんどです。

「心は聞いた言葉で作られる」とはどういうことか。人間というのは実に弱いもので、一見強そうに見える人でも実はそんなに強くないことがほとんどです。

「心は聞いた言葉で作られる」とはどういうことか。人間というのは実に弱いもので、一見強そうに見える人でも実はそんなに強くないことがほとんどです。

「心は聞いた言葉で作られる」とはどういうことか。人間というのは実に弱いもので、一見強そうに見える人でも実はそんなに強くないことがほとんどです。

「心は聞いた言葉で作られる」とはどういうことか。人間というのは実に弱いもので、一見強そうに見える人でも実はそんなに強くないことがほとんどです。

「心は聞いた言葉で作られる」とはどういうことか。人間というのは実に弱いもので、一見強そうに見える人でも実はそんなに強くないことがほとんどです。

「心は聞いた言葉で作られる」とはどういうことか。人間というのは実に弱いもので、一見強そうに見える人でも実はそんなに強くないことがほとんどです。

を支えてこられましたご苦労をお察し申し上げ、本日の卒業を心からお祝い申し上げます。また本校の教育活動に対し、多大なご支援とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

令和5年度 卒業生の進路 (卒業生数59名) 2月20日現在

進学状況 合格者

※進学希望者 16 名

Table with columns: 男子, 女子, 指定校推薦, 一般推薦, AOB入試等, 一般入試. Rows: 四年制大学, 短期大学, 専門学校, 計.

※合格発表待ちの男子生徒1名あり。

進学先

Table with columns: 男子, 女子, 計. Rows: 四年制大学, 短期大学, 専門学校, 計.

就職状況 職業別

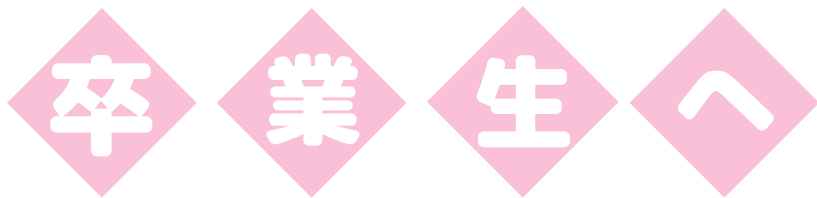
※就職希望者 40 名

Table with columns: 技能, 事務, サービス, 営業・販売, 看護・介護, 公務員, その他, 計. Rows: 男子, 女子, 計.

就労地 (実際に就労する場所)

Table with columns: 八百津町内, 美濃加茂市内, 加茂郡(八百津町を除く), 可児市, 御嵩町, 県内その他(未定含む), 県外, 計. Rows: 男子, 女子, 計.

※上記56名の他に進学・就職ともにしない生徒が女子3名あり。



保護者からの言葉

『本当に卒業おめでとう』

PTA副会長（八百津高OB） 林 竜寛

卒業生のみんな本当におめでとう!!
保護者の皆様もおめでとうございます。

そして今日までいろいろなご指導を頂きました先生方に感謝致します。

3年前みんなが入学した当初は、まだまだコロナ禍という事もあり、オンライン授業などをやったよね。
今思えば、「学校行かずに授業出来るなんてラッキー！」
なんて思ったりもしたけど、やっぱり学校に来て、友達、先生たちの顔を見ながらワイワイ出来た方が絶対に楽しかったよね。
中学校がバラバラだったみんなが、今ではなんでも一緒に楽しめる仲間達になったよね！

それが一番最高やん！

そして、これからみんなまた別々の道へ進みます。でも絶対に忘れて下さい！
この3年間で出会った仲間達を！
楽しい事や辛い事を一緒に過ごしてきた仲間達はこれからも必ずみんなの大切な存在であり続けます！
そしてこれからの新たな人生は全く急ぐ必要はありません！
みんな自分らしさを忘れずに更に楽しく笑って大きく成長していこう！
親としてもみんなの成長を近くで楽しみにしていますよ。
八百津高校最高やったね 本当に卒業おめでとう🎉
PTA副会長(八百津高校OB)
林 竜寛 (美桜の父ちゃん)



『おめでとう』

学年委員長 有加佳直

卒業生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

卒業生の皆さんは、3年間の中で『体育祭』『インターシップ』『産業文化祭』『部活動』『勉強』など色々な体験や学びを経て成長されました。

4月からは就職、進学等で環境が大きく変わります。高校生活の体験と前向きさできっとうまくいくと信じています。

高校生活で培ったものや出会った仲間を大切に、素敵な人生を歩いていってください。

遊びは『花』。
仕事は『根』である。
花を美しく咲かせるには
根を強くすることだ。



卒業生の皆さんの活躍を楽しみにしています。

写真で振り返る下半期の八百津高生



後期生徒会認証式



八百津町 産業文化祭ボランティア



上級学校見学会(1年)



郷土の地理と歴史 地域巡検(3年)



主権者教育(2年)



2年生修学旅行



インターンシップ(1年)



デュアルシステム 成果発表会 (2年)